



日本共産党文京区議会議員

mandaち幹夫 通信

2009年3月13日号 No.90

'みなさんをいつもまんやかに、

区議団控室：5803-1317 (直通)

萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7

・fax 3868-8355

メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/でもご覧いただけます》



教育予算の拡充も求められます(写真は犬山市)

区立保育園の拡充こそ今後の課題です

好天に恵まれた7日午前、区立水道保育園の「卒園を祝う会」に出席しました。第一部は0歳児から5歳児まで順に歌や劇を披露。子どもたちの成長の姿が手に取るようにわかります。主役の子どもたちはイキイキはつらつと、観ている保護者がハラハラ、ドキドキ…。運動会とともにこの祝う会を保護者に観てもらって、保護者の安心感をもってもらっているとのこと。『待機児対策は区立認可園で』と実感。



来年度予算審査特別委員会が始まりました
**空前の雇用・暮らしの破壊から
区民の苦難軽減のための施策をもとめます**



来年度予算審議が11日から始まり、来週16日までの6日間です。私は委員ではありませんが、共産党の委員は3人、毎日傍聴、勉強中です。

初日は各党派からの「総括質疑」が行われ、共産党区議団は、「積み立てた基金(貯金)を住民のために活用すれば税収減による区民への犠牲を強いることはない」との立場から次の点を求めました。

これ以上の派遣、期間工などの首切りを許さないために、失職者の支援、企業の監督、労働者派遣法の改正を国にもとめるべき。

地域活動センターで生活保護申請などの総合相談窓口の設置を。

地域住宅交付金を活用して区内の住宅借上げなど抜本的住宅対策を。

などなど、求めました。しかし区の答弁は緊迫感がないのか、相談窓口については、現在の相談体制で十分機能しています。必要性は低く総合相談窓口設置は考えていません…です！



まんぢん通信

7日 午前、保育園の卒園式に。夕方5時から「春日後楽園駅前再開発」説明会(またまた200人以上参加)と町会の役員会に出席。

8日 午後からハンドマイクによる宣伝と「赤旗」購読の訴えにまわりました。西片地域と白山1丁目を中心に30数か所で宣伝、人通りは多くはありませんが激励の声がかかります。ありがとうございます。

9日 朝から、東京都庁で、自転車専用レーンの設置の実態調査と聞き取りをしました。その足で、午後は衆院議員会館で国交省と同じ件で懇談。「沿線地域、自治体、警察などとネットワークとして整備する」視点が基本だそうです。

茶話会、毎週やっています！お気軽にお越しください

「茶話会」第二回目の11日は6人の方にお集まりいただきました(萬立は不参加ですみません)。話は尽きなかったようで…。次回は、18日(水)午後2時から、まんぢん事務所です。お気軽にご参加を！！